

<p>目指す学校像</p>	<p>1 建学の精神 本学園は、日本国民としての常道に従い、人は生きた資本なりの理想に基づき、建学の精神を「人間是宝」と決めました。この精神は、生徒の将来を考え一人一人の内在する可能性をいかに開花させるかということにあります。この精神こそ、本学園建学の理念であり、本校教育の根源をなすものであります。この建学の精神「人間是宝」と校訓「今日学べ」の具現に努め、文武芸芸四道の進学校を目指します。</p> <p>2 教育使命 若人の未来を考え、次のことを実践することを教育使命としています。 (1) 内在する可能性の開発 (4) 世界文化経済発展の先覚者としての自覚 (2) 創造する心と、知性の育成 (5) 平和世界に貢献する奉仕の心の育成 (3) 人間性豊かな徳操の涵養</p>
<p>学校教育目標</p>	<p>1 けじめある心を育てる 2 自己開発の心を育てる 3 創意工夫の心を培う 4 敬愛と感謝を込めて生活できる心を育てる 5 健全な体と心をスポーツと文化で育てる</p>

学 校 自 己 評 価							
年 度 の 目 標					年 度 評 価		
重点目標	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
<p>学力の向上と進路指導の充実</p>	<p>大学の進学率も向上している。国公立大学・難関私立大学の進学実績も伸びているが更に伸ばしたい。文武芸芸四道の進学校をめざし、それぞれの道で、活躍する生徒を育成するため、学習指導・進路指導を充実させる必要がある。</p>	<p>①国公立大学・難関私立大学の進学実績の向上 ②科別・コース別の進路指導実績の向上 ③進路指導の充実</p>	<p>●特別指導内容の充実（夏期講習・0時限授業・面接指導・小論文指導 など） ●二者面談・三者面談の充実 ●大学進学推進センターの設置と活用</p>	<p>●国公立大学・難関大学合格者数 ●入試センター試験受験者割合 ●大学進学率の向上</p>	<p>●東京大学を初め、国公立大学・難関大学合格者数は、合計127名となり、昨年度より13.4%の増加が見られた。 ●日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学の合格者数は合計125名となり、昨年度より11.6%増加した。 ●大学進学率は88.3%で、昨年より1.3%増加した。</p>	<p>A</p>	<p>●国公立大学・難関大学合格者数の具体的な目標値を設定し、授業内容の研究・改善及び進路指導を充実させる。 ●コースにより、2年次2月までの指導計画・指導方法の工夫改善をより一層進め、2年次終了時点での基礎学力の向上・完成を目指す</p>
<p>入学定員の確保と改善</p>	<p>学則定員は、普通科560名、保健体育科160名の720名、3学年合計で2160名であるが、現在2171名で定員の100.51%となっている。 学則定員オーバーについて、県学事課から強い指導を頂いている。そこで、募集定員を遵守するとともに、より能力の高い生徒を確保することが緊急の課題である。</p>	<p>①志願者数の増大 ②入学定員の遵守（98%～105%）</p>	<p>●志願者の増加と質の向上を目指す ・学校説明会 年4回 ・入試説明会 年8回 ・オープンキャンパスの実施 ●入学定員の確保 ・入学試験の改善</p>	<p>●受験者数の増加と合格偏差値の向上 ●入学定員の厳守</p>	<p>●学校説明会、入試説明会には、のべ6513人が来校。（昨年比20.2%減少） オープンスクール・オープンキャンパスには、816組745人が来校した。（昨年と同程度） ●志願者数は、2833人とどまった。（昨年比約20.5%減少） ●入学予定者は、691名で、定員を若干割り込んだ。 以上の取り組みにより、定員はやや割り込んだが、合格者の質の向上が図れた。</p>	<p>A</p>	<p>●学校説明会、入試説明会、オープンキャンパスの回数・内容の工夫・改善を図り、効率を高める必要がある。 ●これで、生徒数は、2170名となり、0.51%オーバーでおおよそ定員の範囲内となった。今後も、継続して募集定員を遵守し98%～105%の範囲になるよう努める。</p>
<p>部活動の充実と奨学生基準の見直し</p>	<p>部活動を充実させ、関東大会・全国大会・国際大会等に優秀な、多くの選手を出場させてきている。しかし、奨学生等の人数が増加し、授業料等の免除額も増大しているため、精選する必要がある。</p>	<p>①奨学生募集要項の作成 ②奨学生免除金額の制限 ③部活動への支援体制の強化</p>	<p>●奨学生募集要項を作成し、募集活動を充実させる。 ●奨学生基準枠を制限し、奨学生として受け入れる基準を明確にする。</p>	<p>●作成と配布 ●基準の明確化 ●30以上の部活動が全国大会に出場する。</p>	<p>●奨学生募集要項を作成し、奨学生募集活動を充実させることが出来た。 ●埼玉栄高校奨学生規程に基づき募集枠にランクを設け、それぞれに対して基準を明確にして、募集活動を推進することが出来た。 ●これにより、奨学生の精選を図ることが出来、免除する金額も従来の2/3に圧縮することが出来た。 ●のべ81の部活動が全国大会に出場し18部が優勝。のべ779名の生徒が全国・関東大会で優勝・入賞を果たした。</p>	<p>A</p>	<p>●奨学生募集活動については、来年度以降も実施するが、本年度の要項をさらに改善していく必要がある。 ●また、関東大会・全国大会・国際大会の出場には、遠征費を全額補助しているが、この金額を維持することが課題である。</p>

○達成度

A: 充分達成 (100%)

B: 概ね達成 (80%程度)

C: 変化の兆し無し (50%前後)

D: まだ不十分 (30%程度)

E: 方策の見直し (20%未満)